

ZEH目標公表資料

ZEHの周知・普及に向けた具体策

高断熱・風通し・調湿などをスタンダード仕様とし、モデルを示す等。

オープンハウス等を行うことて地場の顧客に体験してもらう。

ZEHのコストダウンに向けた具体策

太陽光発電は、自家で発電し使用し将来の電気自動車のチャージにも使う。

売電を目的としない、行き過ぎのない設備を目指す。

標準仕様を確立し、職人との連携を密にし、施工精度を高め、ロスのない発注を目指す。

その他の取り組み

日常的な省エネライフスタイルの提案。

新築後のメンテナンス・ソフト面のケア等、生涯にわたって家を見守る。

今後の普及率目標（年度毎）

「ZEHロードマップ」に基づき、

受注する住宅のうちZEH(Nearly ZEH含む) が占める割合を

平成35年度までに50%以上とする事業目標を掲げる。

2021年度実績（令和2年度）：0%年間建築件数 1戸

2022年度目標（令和3年度）：20%

2023年度目標（令和4年度）：30%

2024年度目標（令和5年度）：40%

2025年度目標（令和6年度）：50%